

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

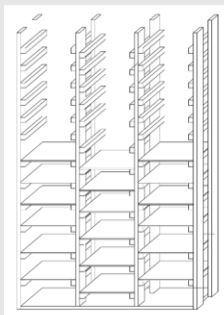
学校名	茨城大学	個人・グループ名	坏香織・菊地礼華 小山愛・富田真帆	作品名	大きなのっぽのシューズラック
-----	------	----------	----------------------	-----	----------------

製作の動機

本学金属材料研究室の学生は、それぞれが外履き、中履き、安全靴の3つの靴を所有しています。現在の靴箱は10足しか収納することができず、それ以外は整頓されていません。また、ブーツ等の高さのある靴に対応できる靴箱ではありません。収納数の確保と靴の大きさの違いへ対応できる靴箱を製作しました。



設計・材料



構想図(斜め)



構想図(正面)

- 外履き用
棚板:アクリル板
移動可能
- 中履き用
棚板:ラワン合板
- 安全靴用
棚板:ラワン合板

- 側板 : 1×4材
- 底板 : 集成材
- 棚板 : ラワン合板
アクリル板
- 棚板部品 : 杉角材
木ダボ
- 接合 : ビス

接合にはビスを用い、修理のしやすさを考えました。

工夫したこと

point 1

棚の高さ変更可能！

外履き用スペースの棚板は、**移動可能**です。角材の上に棚板を置き、木ダボで支えます。

ブーツなどの高い靴にも対応できる！

汚れても安心！

point 2

外履き用の棚板には、**アクリル**を使用し、汚れを拭けるようにしました。

使用したアクリル



point 3

空間を有効活用！

中履きと安全靴の高さに合わせて設計し、無駄な空間をなくしました。

中履き用



↑12cm

安全靴用



↑15cm

寸法 : W882 × D300 × H1600

収納最大30足！

point 4

本研究室の最大所属人数9名にも対応できる収納数を確保しています。

使わない棚板はここに収納します

